

# 調査団報告書

調査No. 7

## 調査内容

鶴舞中央図書館の正式な読み方は「ツルマチュウアウトシヨカン」。住所は昭和区鶴舞(ツルマイ)。鶴舞(ツルマイ)と書いて「ツルマ」と読むのはなぜ？

## 調査手順

まず地名辞典を調べよう。『角川日本地名大辞典 23 愛知県』と『なごやの町名』で「鶴舞」を調べる。明治 42 年(1909 年)に鶴舞公園ができた時に、「ツルマ」という地名に「鶴舞」という字を当てたとされている。『名古屋市史 地理編』と『金鱗九十九之塵』に記載されているらしいので、それぞれ確認する。『名古屋市史 地理編』の鶴舞(つるま)町の項には、「鶴舞の名、初めはツルマと假名にて書せしを、後に漢字を當てたるものにして、眞の意義は詳ならず」とある。『金鱗九十九之塵』巻六十三には、「今に田ノ所のあざ名につるまと唱ふ所あり」とある。前津小林村(現在の上前津)の辺りに鶴が多くいたという伝承もあるようだ。また、『地名を考える』p. 93 と『日本の地名』p. 123-124 には、水の流れる場所を意味する「水流間(ツルマ)」という言葉に、鶴舞という漢字を当てたという説が紹介してある。

実際にどのように読まれていたのか、もう少し調べてみよう。江戸時代の『尾張名陽図会』巻六に「鶴舞池」「鶴萬池」が載っていて、それぞれ「つるまひ」「つるま」と読み方が書いてある。『明治十五年愛知県郡町村字名調』では、字名の「東鶴舞」「西鶴舞」が「ヒガシツルマイ」「ニシツルマイ」となっている。鶴舞公園の名称を決定した時の名古屋市告示を調べると、「鶴舞公園」に「ツルマ」とカタカナで読み方が書いてあった。

『史話名古屋城と城下町 [改訂版]』では、「鶴舞」の読み方が取り上げられている。また、『名古屋地名ものがたり』では、『名古屋市史』や『日本の地名』を元にした従来の説について詳しく検証されている。

## 調査結果

鶴舞中央図書館、鶴舞公園、鶴舞小学校は、「ツルマ」という読み方を採用している。「鶴舞」には、「ツルマ」・「ツルマイ」二種類の読み方があり、図書館が「ツルマ」なのは、鶴舞公園に合わせたのではないかと思われるが、正確な由来は伝わっていない。

調べれば調べるほど奥が深い。調査団の課題として、これからも調査を続けよう。

< 今回の調査で使った資料 > 『角川日本地名大辞典 23 愛知県』 角川書店 1989 年  
『なごやの町名』 名古屋市計画局 / 編 名古屋市計画局 1992 年  
『名古屋市史 地理編』 名古屋市 / 編 愛知県郷土資料刊行会 1980 年  
『名古屋叢書 第 7 巻』 名古屋市教育委員会 / 編 愛知県郷土資料刊行会 1982 年  
『日本の地名』 鏡味完二 / 著 角川書店 1964 年  
『地名を考える』 山口恵一郎 / 著 日本放送出版協会 1977 年  
『尾張名陽図会』 高力種信 / 著 愛知県郷土資料刊行会 1971 年  
『明治十五年愛知県郡町村字名調』 愛知県教育会 / 著 愛知県教育会 1932 年  
『史話名古屋城と城下町 [改訂版]』 水谷盛光 / 著 名古屋城振興協会 1997 年  
『名古屋地名ものがたり』 杉野尚夫 / 著 風媒社 2017 年  
名古屋市告示第四二号 明治 42 年 (1909) 11 月 19 日

